

ゆめプラ通信

つうしん

号外 vol.3

発行 武豊はやぶさ実行委員会・武豊町

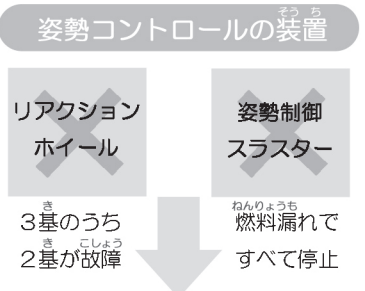
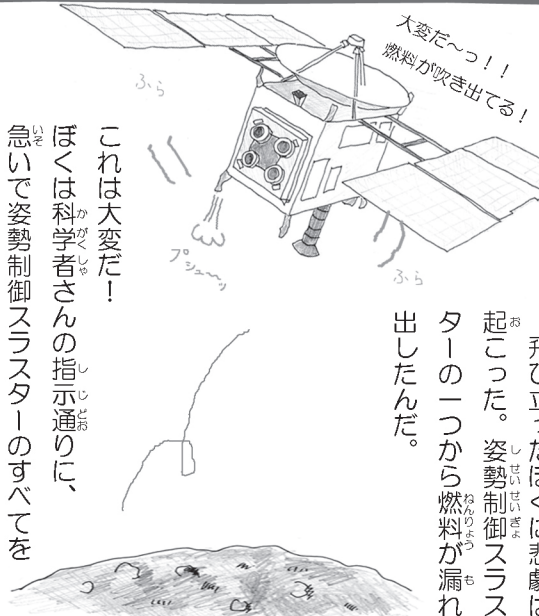
.....「はやぶさ物語」前回のあらすじ.....
 イトカワ着陸の少し前、はやぶさの姿勢を制御する装置に異常が見つかった。その危機を乗り切り、2度のイトカワ着陸に挑む。1度目は失敗し、イトカワ表面に30分も倒れていた。そして、2度目は成功したかに思えたが...
 さあ、これから、はやぶさの地球帰還に向けての過酷な旅の始まりだ！

はやぶさ物語

その③

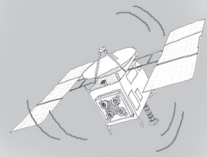
悲劇のはじまり

11月26日、2度目の着陸を終えて、イトカワから飛び立ったほくに悲劇は起こった。姿勢制御スラスターの一つから燃料が漏れ出したんだ。



でも、燃料が漏れているせいでなかなかうまく回れない...。地球との通信もときれときれ...。

これは大変だ！
 ほくは科学者さんの指示通りに、急いで姿勢制御スラスターのすべてを停止させた。
 そしてほくは、太陽電池パネルを太陽に向けてくるくると回り始めた。
 そうすれば、軌道を外れずにすむんだ。

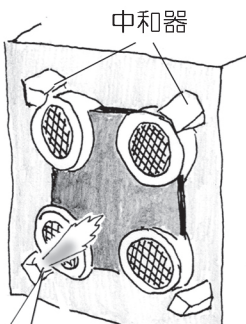


みんなの声が聞こえなくなってきたよ...。体も冷えきっている...。ほく、どうなるのかな...。

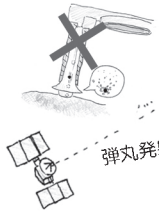
姿勢制御の秘策

次の日、宇宙をさまよっていたほくに地球からの声が届いた！
 奇跡的に地球との通信ができるようになったんだ！そして、姿勢をコントロールする装置が使えなくなったほくのために、科学者さんたちが知恵をしばって秘策を考えしてくれた。

イオンエンジンの中和器を使おう！



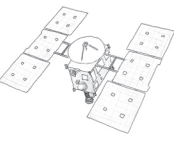
こうして、なんとか危機をのりきったほくは、着陸の時のデータを地球に送ることができた。この時、かけらを拾うための弾丸が発射されていたことがわかったんだ。



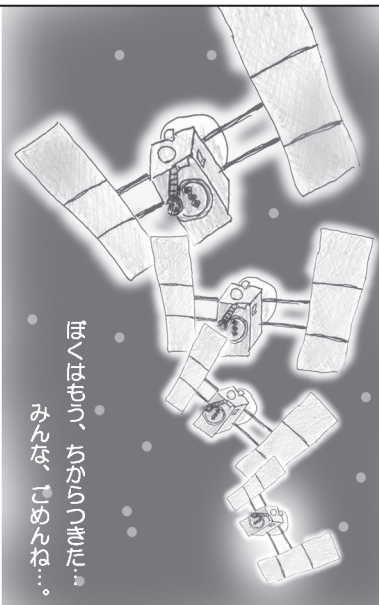
イオンエンジンの横には、中和器というものがついている。その中和器から燃料の「キセノンガス」をそのまま噴射するという方法。運よく、中和器は4方向を向いているから姿勢をコントロールするのに使えそうだ！！

行方不明事件

12月8日、再び地球との通信ができなくなった。激しい燃料漏れのせいで姿勢がくずれて、太陽電池パネルを太陽に向けることができなくなった。そのせいで電力がなくなりました。今回は最悪だ。ほくは広い宇宙で行方不明になってしまった...。

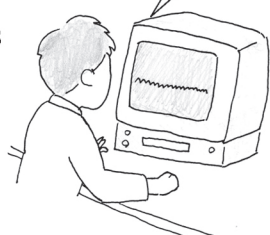


何日も何日も、科学者さんたちはほくを探してくれた。でも、ほくが見つかることはなかった。



はやぶさ、一体どこにいるんだ...。必ず見つけてやるからな！

科学者さんたちは、あきらめていなかった。
 そして...一か月半後の2006年1月23日
 その思いがついに奇跡を起こしたんだ！



奇跡の瞬間

モニターに反応が！
それは、まさしくほくが
送った信号だった。ほくは、奇跡的に



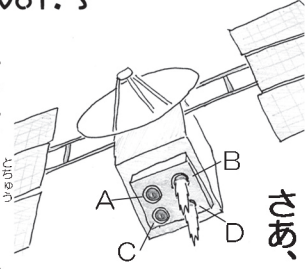
見つかった。

通信が回復

わずかだけれど、奇跡的に地球と通信ができる
ようになったほくは、科学者さんの指示通り
に姿勢をたて直した。そして、ちからをふり
しほって再びイオンエンジンを稼働させたんだ。

さあ、地球に帰ろう！

ほくは地球を目指して
順調に進んでいた…。



最大のピンチ

しかし、途中またしても
試験がおそいかかる…。
イオンエンジンに次々と
寿命がおとすれたんだ。

ここまでのイオンエンジンの状況

- A…打ち上げ後に不具合、運転見合わせ ×
- B…正常 → 中和器が故障し運転停止 ×
- C…正常 → 一時稼働しなかったが復活 △
- D…正常 → 中和器の寿命で運転停止 ×

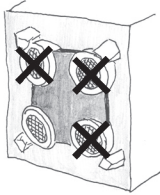
今使えるエンジンCが停止すれば、地球へ

は二度と帰れなくなる。

最後のエンジンもちから

つきようとしていた。

今度こそもうだめだ…。



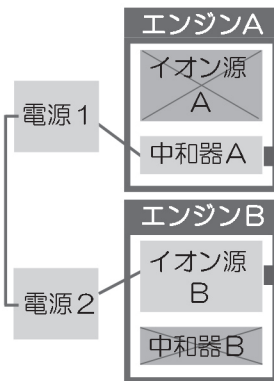
ひみつの回路

でも、ひみつの回路がピンチを救って
くれた。これは、科学者さんのひと
りがこっそりつけてくれたもの。

ほくのエンジンは、イオン源と中和器
で1セットになっている。どちらかが
こわれると、そのエンジンは使えなく
なる。でも、このひみつの回路のおか
げで、正常なものどうしを組み合わせ
て使うことができたんだ！

2009年11月のことだった。

正常なものどうしを組み合わせ
て一つのエンジンと同じ仕組みにする



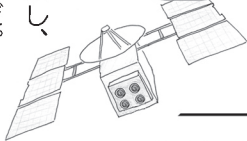
その後、ほくは順調に旅を続け、地球
まであと少しのところまできていた。

大気圏突入の準備

2010年3月27日、

ほくはイオンエンジンを停止し、
大気圏突入の準備を始めたんだ。

いよいよ最後の時が近づいていた。



カプセル分離

2010年6月13日、
地球まで7万kmのところまで、
ほくはカプセルを切り離れた。

ここから見る地球は、なんて美しいん
だろう。ほくが見てきたどんな星よりも美しい。

やっと帰ってきたんだ、地球に。

ほくは、最後の力をふりしほってカメラ
のシャッターを切った。

そしてこれがほくの最後の仕事になった。



そして流星に…

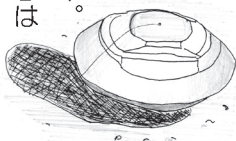
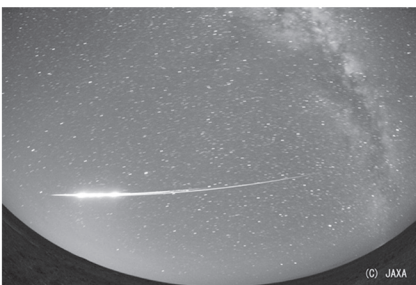
その後、カプセルとほくは地球に
引き寄せられて、大気圏に突入。
ほくの体はばらばらになって夜空
に消えていった。ほくの最後の光
は、満月よりも明るい流星に見え
たそうだ。打ち上げから7年、

60億kmにも及ぶほくの旅が終
わった瞬間だった。

そして6月13日の夜、

カプセルは無事に
オーストラリアに落下。

その後、カプセルからは
イトカワの微粒子が見つかった…。



世界初の偉業を成し遂げたはやぶさは、日本の宇宙開発の
新しい時代を切り開いた。そして、はやぶさのバトンはず
っかりと次世代に受けつがれていくのだ。
最後に、はやぶさ、お疲れさま。そして、おかえりなさい。

小惑星探査機はやぶさ帰還カプセル展示 in たけとよ
遙かなる宇宙への挑戦

期間：平成23年8月4日(木)～7日(日) 9:00～21:00

場所：ゆめたろうプラザ(武豊町民会館)

帰還カプセル展示以外にも、ワークショップや講演会、展示などなど。夏休みをアツく過ごそう!

最新情報はココでゲット!

ブログ

<http://ameblo.jp/taketoyo-hayabusa>

ツイッター

<http://twitter.com/takehayabusa>

